



VESPAは  
WHOが注意喚起している  
人口甘味料(NSS)\*は  
使用していません。

\* NSSは、WHO(世界保健機関)が  
「使用を推奨しない」と  
発表している甘味料です。



WHO(世界保健機関)は、  
以下の理由から体重コントロールのための  
人工甘味料(NSS:非糖甘味料)の使用を  
推奨しないガイドラインを発表しました。

1. 成人・小児の別なく、体脂肪減少効果を示唆するエビデンスが入手できない。
2. 長期の使用により、2型糖尿病、心血管疾患、成人の死亡率の増加など、健康に対し望ましくない影響の可能性を有する。

この勧告は、糖尿病の既往症患者を除く全ての人に適用され、  
**全ての合成甘味料**、天然由来または改変された**非栄養甘味料**が含まれます。

一般的なNSSには、アセスルファムK、アスパルテーム、アドバンテーム、シクラメート、  
ネオテーム、サッカリン、スクラロース、ステビア、ステビア誘導体などがあります。

詳細は、2023年5月18日付でWHOのガイドラインで発表されていますのでご確認ください。

[\[Use of non-sugar sweeteners: WHO guideline\]](#)

VESPA飲用が持久的運動にもたらす  
変化の検証

(論文要約・抜粋)

スズメバチ成虫成分含有  
ハチミツ飲料が持久的運動時の  
血液性状に与える影響

(JPFNI) 第18巻 第1号



2008年

岩本もりえ様  
岩本浩之様  
榎村修生様 著

## VESPA飲用が持久的運動にもたらす変化の検証

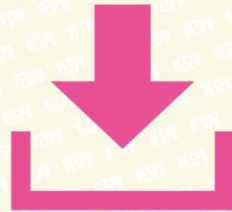
(論文要約・抜粋)



### 脂肪燃焼を優先的に促進

VESPAを飲んだ時は乳酸値の上昇は見られず、運動エネルギーになる血中の中性脂肪値が上昇していることから、糖質代謝以上に**脂肪燃焼が促進された**ことを示しています。

### 血中アンモニア



### 疲労感の原因物質の抑制

VESPAを飲んだ時は、運動後の**疲労感の原因物質**の一つである血中アンモニアの**上昇抑制効果**が認められました。

### 筋損傷マーカー



### 筋細胞の損傷を抑制

運動によって生じた、アルドラーゼやフェニルアラニンの筋損傷マーカーの血中濃度を抑制したことから、**筋細胞の損傷を抑制**すると考えられます。

### 代謝性アシドーシス



### 有酸素運動の維持

運動時のVESPA飲用が循環器系に効果をもたらし、体内が酸性に陥る**代謝性アシドーシスの発生を遅らせる**可能性があります。